



◇ 随想 ◇

懐かしい遊びとその道具(四)

## 今となっては懐かしのブリキおもちゃ

古橋 昭子 (青山学院大学名誉教授・  
理学博士・湘南日独協会会員)



ブリキのおもちゃも捨て  
がたい。これもプラスチック  
ク製にかなり代わっている。  
けれど、火をつけた小さい  
蠟燭をさし込んで水面を走  
るポンポン船はやはりブリ  
キでなければならぬ。ブ  
リキは鉄板の表面に錫を  
メッキしたもので、傷が  
つ

いた時に中の鉄板が全部腐  
食するまで錫はとけない。  
伍話めの缶も同じである。  
トタンの場合は鉄板に亜鉛  
メッキしてあるので、傷が  
つくと鉄よりイオン化傾向  
が大きい亜鉛が先にとける。  
一人遊びには万華鏡は欠  
かせない。あんな素晴らしい  
おもちゃはない。これはス  
コットランドの物理学者  
デービッド・プリュスター  
によって一八一六年に初め  
て考案されたといわれる。  
その後、多くの人々によっ  
て様々な型のもので世に出  
されてきた。水の流れのよ  
うに二度と同じ模様が見ら  
れない。いつまで見ても  
もあきることはない。

けん玉もむずかしいがあ  
きないおもちゃだ、一般的  
には男の方が上手なようだ。  
ヨーヨーも同じく男向きの  
おもちゃだ。ヨーヨーには  
英語では「ばか者」という  
意味もあるようだ。

きびから細工やモール細  
工はいまではすたれて終っ  
ているようだが、創造性を  
養うことができる。

花火は近頃は空地もなく、  
うるさい、あぶない等の理  
由であまり売られなくなっ  
たようだが、線香花火は  
ちよっとはかないがとても  
楽しい。